

第 1 回箕面ロマン創出懇話会会議概要

(10月27日実施分)

趣旨

箕面地域の活性化を目的として平成19年7月に策定した「箕面駅周辺整備計画」について、国の「地域活力基盤創造交付金」及び府の「歴史・文化的まち並み再生補助金」の活用が可能となり財源の目途がついたことで、事業着手の運びとなった。

これにより、箕面市は「箕面駅周辺整備計画」をベースに、滝道を含めた箕面地区の更なる充実を図る『箕面駅周辺整備実施計画』を策定する。

箕面ロマン創出懇話会は、『箕面駅周辺整備実施計画』について精査及び検討し、明治情緒溢れるまちづくり(=箕面ロマンと表現)の具現化方法等について協議する。

議題 1 懇話会委員長及び副委員長の選出について

議題 2 懇話会の運営について【資料3】

事務局から、懇話会の役割等について説明

議題 3 H18～H19箕面駅周辺整備方針検討懇話会～「箕面駅周辺整備のあり方〔箕面駅周辺整備計画〕」～の振り返りについて【資料4-1、4-2】

株式会社ウエスコ(H19計画策定時のコンサルタントかつ今回の計画の実施設計業務受託予定者)より、概要を説明

議題 4 石畳と淡い街灯まちづくり支援事業の概要について【資料5】

株式会社緑景(実施計画策定コンサルタント)より、概要を説明。

議題 5 今後のスケジュールについて

議題 6 その他

議事内容

- ・構成委員の中に、バス及びタクシー事業者が入っていないのはなぜか。

H19の継続という側面があり、バス・タクシー事業者にはお声を掛けていない。要望ということであれば、次回に向けた確な対応を行う。

- ・最終的に大切となるのは実施計画であると思うが、その策定はどのようにしていくのか。また、実施計画を策定した後、実施設計に入るとのことだが、具体的なスケジュールはどうなるのか。

次回の懇話会で、実施計画のイメージ案を株式会社緑景より提示する。実施設計は、実施計画(デザインやイメージ等をパース化したもの)が仕上がり次第、年度内には着手し、可能なところから工事発注を行っていく。

- ・フットライト整備事業はどこか。
仰箕橋をイメージしている。
- ・滝道美装化（石畳）整備事業について、どのようなイメージなのか。
次回の懇話会にイメージできるものをお示しする。比較対象ができるよう、2～3案提示する。
- ・平成19年に策定した整備計画と今回策定する実施計画は2本立てなのか。
今回策定する実施計画は、平成19年の整備計画をベースに、滝道を加えた更なる充実プランとして色直しして策定するものである。なお、平成19年の整備計画には駅前駐車場、駐輪場等の整備が入っているが、それらは平成24年度以降の着手を予定しており、今回取り止めた訳ではない。
- ・懇話会で配布する資料については、前もって目を通しておきたい。
次回以降、事前に各委員あてに送付する。

意見、要望

- ・(事業エリアが府と市の管理地に跨るが)府と市でデザインが変わることのないように、きちんと摺り合わせをして欲しい。
- ・箕面市が本当に活かすべきまちなみは、例えば滝道で言うと、箕面川と周辺の緑である。石畳や街灯ばかりが目立つのではなく、これらをどう活かすのかを考えていかなければならない。
- ・四季を通じて滝道は移ろうので、その点も踏まえ議論する必要がある。
- ・整備して終わりではなく、これを契機にソフトを含めて長期的なまちづくりを継続することが肝要である。

決定事項

- ・懇話会委員長は加藤委員、副委員長は小枝委員に決定。
- ・ワークショップ及びパブコメについては、「箕面駅周辺整備計画」を担保するため改めて実施する予定はない。委員独自の自主的な勉強会、集会等は任意とする。
- ・懇話会は市民の傍聴を認める。
- ・次回以降の開催日程
 - 第2回開催 11月16日(月)午後6時～
 - 第3回開催 12月 4日(金)午後7時～
 - 第4回開催 12月18日(金)午後6時～

以上